

わ

が

街

わ

が

故

郷

(株)ツバキ・ナカシマと當麻町

(株)ツバキ・ナカシマとその本社のある當麻町についてご紹介いたします。

(本社／葛城工場は現在當麻町・新庄町にまたがっていますが、今回は本社所在地のある當麻町についてご紹介いたします。)

1. 会社の紹介

株式会社ツバキ・ナカシマ

<本社／葛城工場>

〒639-2162

奈良県北葛城郡當麻町大字尺土19番地

TEL 0745-48-2891 (代表)



本社／葛城工場

当社は、1934年（昭和9年）奈良県橿原市古川町において、近森小三郎が東洋鋼球製作所を創業、自転車用鋼球の生産を開始、昭和11年には現在の本社がある當麻町尺土に移転、昭和14年、東洋鋼球製造(株)に改組、椿本説三が初代社長に就任、大阪市に本社を移転いたしました。

その後、軸受用鋼球、極小径鋼球の生産に着手、東京営業所、大阪営業所を開設、昭和44年には郡山工場が完成稼働し、ボールネジ等機械用送りネジを生産するなど業容を拡大してまいりました。

平成元年には(株)中島製作所と資本業務提携、平成8年4月に合併し(株)ツバキ・ナカシマとなり、現在に至っています。

また、海外においては、平成2年フーバー社（米国ジョージア州）鋼球部門を買収、平成7年バルメックス社（メキシコ）を買収、平成10年から平成11年にかけて大字MGM（ハンガリー）より鋼球・ローラー部門を買収、平成14年椿中島機械（太倉）有限公司（中国）を設立、平成15年国営FLT社よりZET社（ポーランド）を買収し、それぞれの地域における鋼球等の最適地生産販売を進めています。

当社は、会社設立以来、日本一、世界一をめざし、お客様に喜んでいただけるよう国内、海外工場にて日々高精度な真球づくりのため邁進しております。また、精密鋼球分野を活かし、ボールネジ、ボールウェイ、各種産業用制御機器等エレクトロニクス、メカトロニクス、情報関連等さらに高度化するニーズにグローバルに対応できる体制の構築に今後も努めてまいります。

2. わが街の紹介

<位置>

當麻町は奈良県の西北部、北葛城郡の西南部に位置し、金剛・生駒国定公園の中ほど、二上山と岩橋山の山麓に扇状をなし、美しい田園地帯の広がる閑静な地域にあります。

交通機関は、大阪都市圏の25km圏の範囲にあり、近鉄南大阪線が東から北にかけて走り、また、奈良県から大阪府へ通じる国道166号線が東西に走るほか、近年南北に走る国道165号線が整備され、當麻町へのアクセスは格段に向上いたしました。

<歴史>

起源は遠く奈良時代から白鳳文化の発祥の地としてひらけ、古代文化の中心地である飛鳥に近く、推古天皇21年に飛鳥から難波に通じる竹内街道が官道第1号として開通したことは日本書紀にも記されています。

また、かの松尾芭蕉が門人千里に誘われてこの地をよく訪れ数々の名句を残しています。その地が現在「綿弓塚」として竹内街道沿いに残されています。

「綿弓や琵琶になぐさむ竹の奥」 松尾芭蕉



竹内街道



綿弓塚

<旧跡> 當麻寺

當麻寺の前身は万法藏院といい、612年聖徳太子の弟である麻呂子親王が、二上山の西に創建したのが始まりで、その後天武天皇白鳳2年(681年)に親王の孫にあたる當麻国見が現在地に移建し、禅林寺と改称したのが當麻寺の始まりです。

當麻寺には国宝8件、重文34件あり、東塔、西塔(国宝)は天平初期から末期にかけて建立された三重塔で、両塔が現存するのは全国でも稀であります。

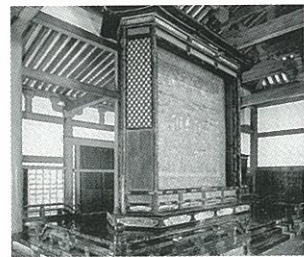


當麻寺本堂

また、本堂(国宝)に安置された綴織當麻曼荼羅(国宝)は天平宝字7年(763年)に中将姫(藤原家の娘)が蓮糸で織り上げたと言われ、これを元に過去3回にわたって転写が行われ貞亨2年(1685年)が最後となっています。



當麻曼荼羅(転写)



當麻曼荼羅厨子

創建当初は三輪宋を奉じていましたが、弘仁14年(823年)弘法大師が参籠してからは真言

宗が興り、次第に盛んになり浄土の霊場として尊崇されるようになったとのことです。

⑤ 町木 クスノキ

⑥ 町鳥 うぐいす



町の鳥 うぐいす

3. 當麻町の歴史

明治22年の町村制施行により8ヵ村が合併し磐城村となり、同時に6ヵ村が合併し當麻村となりました。

その後、同31年の町村合併促進法により15大字が1つとなり當麻村が発足、昭和41年に町制施行され當麻町となり現在に至っています。

地勢は山麓地域にあるため、内陸性気候の影響を受けて、昼夜・夏冬の気温差が激しいものの、年間を通じ比較的温暖であります。

① 人口

総数 15,569人 (男)7,483人 (女)8,086人

② 面積 15.96km²

③ 町章

昭和33年10月18日制定。当の字と麻をマとして用い、葛城連山を象徴して図案化したものです。



町章

④ 町花

菊 江戸時代から菊の栽培が行われており、特に露地菊は有名です。

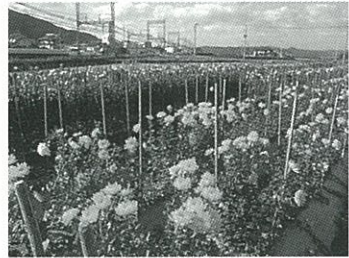
牡丹 當麻寺は牡丹の名所で有名。



町の花 菊 (左) と牡丹 (右)

⑦ 特産物

露地菊とともに古くから苺、茄子などの園芸栽培が盛んで、特に夏秋茄子の生産の発祥地として有名で毎年6月頃から出荷されます。



菊栽培

「當麻町の味」「當麻町の特産物」の創出・販売、地域農業の振興と農村の活性化を目的に「郷土食當麻の家」が完成、平成7年には「道の駅」に指定され、奈良県下5番目の登録となりました。



道の駅

⑧ 姉妹都市

北海道当麻町（とうまちょう）

町名が「當麻町」「当麻町」で同じことから、
平成7年8月提携。町花も同じ菊です。

⑨ 合併について

平成16年10月1日に當麻町と近隣の新庄町が
合併し、「葛城市」となる予定です。

